

通院される患者さんにお勧めする 5種類のワクチン

慢性疾患で治療中の方、免疫力の低下している方は、感染症により重症化するリスクがあり、以下のワクチンを推奨しています。

01 肺炎球菌ワクチン

肺炎だけでなく、髄膜炎などの重い感染症も防ぎます。

対象：65歳以上の方や、心・肺疾患など重症化リスクのある方

02 帯状疱疹ワクチン

激しい痛みや、治癒後も続く神経痛を防ぐために。

対象：50歳以上の方や、病気のため感染しやすい方

03 RSウイルスワクチン

高齢者の肺炎の原因となるウイルスです。心疾患の方は要注意。

対象：18歳以上で心・肺疾患など重症化リスクのある方

04 インフルエンザワクチン

流行前の10月～12月頃の接種が理想的です。

対象：全ての方（特に高齢者、基礎疾患のある方）

05 新型コロナワクチン

死亡者数はインフルエンザの10倍以上（2024年）、重要です。

対象：高齢者・基礎疾患のある方（年1回推奨）

ワクチン一覧と詳細

ワクチン	製剤名・回数	備考
肺炎球菌	プレベナー20® キャップボックス®	プレベナーは初回のみ補助対象* キャップボックスはカバー率高い
帯状疱疹	シングリックス® ビケン®	50歳以上は補助対象* 効果の高い、シングリックス推奨
RSウイルス	アレックスビー®等	18歳以上で基礎疾患や重症化リスクのある方
インフルエンザ	不活化ワクチン 高齢者向け強化ワクチン	10月～12月頃の接種が理想 補助対象*
新型コロナ	コミナティ®等	変異ウイルス株に対し毎年の 接種を推奨 補助対象*

* 接種費用の補助を受けられる対象、条件はお住いの自治体によって異なります

よくあるご質問

Q. ワクチンを打てば、絶対に感染症にかかりませんか？

A. 完全に防ぐものではありませんが、重症化や入院、「後遺症」を防ぐ効果が期待されます。（効果はワクチンによって異なります）

Q. 副反応が心配です。

A. 接種部位の痛み、赤み、発熱などが見られることがありますが、多くは数日で治まります。一般的にはワクチンのメリットが勝ると考えられています。

Q. 費用はどのくらいかかりますか？

A. 「定期接種」の対象年齢の方は公費助成が受けられる場合があります。それ以外は「任意接種（全額自己負担）」です。料金は当院の受付窓口までお問い合わせください。



接種をご希望の方へ

内科受付または診察時に医師にご相談ください。

かかりつけ医がいらっしゃる方は、そちらでの接種をお勧めします。